

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）カンサイ	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ナカザワ ノブヒコ
関西大学	経済学部	中澤 信彦 ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）チームサポーター	フリガナ）タツタ リョウタロウ	6	無
チームさぼ〜ね	辰田 諒太郎		

研究テーマ（発表タイトル）

固形石鹸 進化論〜3つの“R”〜

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たち関西大学経済学部・中澤ゼミでは「あたりまえを問い直す」をテーマとして活動してきました。そこで今回は「固形石鹸消滅」のあたりまえに注目しました。石鹸が衰退している現状に対し、固形石鹸の社会的な存在意義を見出した私たちは、固形石鹸をなくしてはならないと考えています。固形石鹸の販売数が最も少ない若者に焦点を当て、「固形石鹸の新たな役割＝進化」を創ることを目標に掲げました。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

液体石鹸の登場により固形石鹸の市場は年々縮小の傾向にあります。（身体洗浄剤の販売推移を見ると1990～2015年の25年間で浴用固形石鹸は約61%減少しています）。また儀礼的なギフト習慣が廃れるにつれて、石鹸をギフトとして選んだり貰ったりする機会も減ってきています。

3. 研究テーマの課題

固形石鹸は、「（人々を）洗う」という従来の役割を液体石鹸に取って代われ、また、「誰にでも（喜ばれる贈りもの）」というニーズも減少しています。そんな固形石鹸消滅の危機に直面している今、新たな価値の創出が必要であると考えます。また一人一人の多様なニーズへの対応力も重要です。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

現在は顧客のニーズが多様化し、専門性の高いニッチな固形石鹸が多く販売されています。その現状を手がかりに、固形石鹸従来の「洗う」という役割に新しい役割を付け加え、一人一人の細かいニーズに応えられる「キャンディー石鹸」を開発することで課題を解決します。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私たちは、大学生を対象とした固形石鹸に関するアンケート調査を実施することによって、若者が石鹸を実際どのように使用しているのか、石鹸に対してどのようなイメージを持っているのかなどについて、正確な情報を得ようと努めました。また、石鹸を製造・販

売している株式会社マックス様を訪問することによって、石鹼に関するより詳細な知識を入手し、文献からだけでは把握しづらい、石鹼市場の現状を学ぶことができました。また、マックス様には私たちが提案した「キャンディー石鹼」のサンプル作成にもご協力いただきました。

6. 結果や今後の取り組み

生活様式が多様化し、固形石鹼の新しい役割が求められている今、様々なニーズに応える商品を作ることで活路が開けると考えられます。また、私たちはアンケート調査の結果から大学生の石鹼に対するイメージや石鹼に求める要素が極めて多様であることがわかりました。そうした多様性を踏まえながら私たちが考案した「キャンディー石鹼」ならば、大学生を発信源に話題を広げていくことが可能であると考えられます。また、今後の普及策を考案・実行することで、「キャンディー石鹼」を周知させられれば、固形石鹼の進化は可能であると確信しています。

7. 参考文献

長谷川治（2015）「これでわかる！石けんと合成洗剤 50 の Q & A : あなたは何を使って洗っていますか？」合同出版

馬場了・河合正嗣（2001）「〈ヒット！〉商品開発バイブル」明日香出版社

日本石鹼洗剤工業会（JSDA）（<http://jsda.org/w/index.html>）2016.09.28

株式会社マックス（<http://www.soapmax.co.jp/>）2016.09.03

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。